

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	徳山大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トクヤマダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F135310110103
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	山口県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	アーリー・エクスポージャー型インターンシップ
	学部・研究科等名	経済学部・福祉情報学部
	担当教職員名・役職	坂本 勲：教授、寺田 篤史：講師、中嶋 克成：講師
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	64
	受入企業等数	32
	受入企業等名	藍澤証券(株),西京銀行,ミズノ(株),お出かけ相談室,周南スイミングクラブ,(株)ホテルサンルート徳山,トクヤマ海陸運送(株),(株)シティーケーブル周南,日本ハウス(株),(株)はつもみぢ他22社
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・会社紹介、安全教育、業界説明、貿易、大型船、専用大型重機について、部門業務説明、職場見学(トクヤマ海陸運送株式会社) ・ケーブルテレビ業務全般の説明、番組制作体験(取材・編集)(株式会社シティーケーブル周南) ・業界・会社説明、仕事内容説明、職場見学、就業体験、社員との座談会、質疑応答(山口トヨタ自動車株式会社) ・機械設計業務説明、実際の製品見学、図面作成(産機設計有限会社)等その他28社
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部1年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部1～4年次。総合科目キャリア教育系として、授業期間中・休業期間中に実施。2単位を付与する。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい

要素③

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ中に教職員が電話・メール等で状況の確認を行う
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	インターンシッププログラム全体概要説明、業界・職種研究（第1回）、マナー、ビジネスレター、実習後の確認（第2回）、インターンシップのマナー、レポート提出について（第3回）、ピアサポートの利用方法、体験の共有（第4回）
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	報告会のための資料作り、参加者による報告会の実施、レポートの作成。地元企業による講演もオンラインにより実施。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ担当の職員から問題なくインターンシップが進行しているかを企業及び学生に確認。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
		4.その他
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受入企業による観点別評価の実施	

	4-3.上記回答内容に関する詳細	<p>1. 事前にインターンシップに参加する際の目標等を報告させている。また、事後にインターンシップの概要、目的・目標、経緯、業務内容、苦勞した点・困難・工夫、自己評価を報告するレポートを作成させている</p> <p>2. 社会人基礎力アンケート（経産省）およびキャリアプランニング力アンケート（大学独自）を実施している</p> <p>4. 学生の意識・行動・勤務態度・業務遂行状況（いずれも3段階）、総合評価（4段階）および総合所見（自由記述）で評価</p>
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	一定期間のまとまりのある連続した5日間の実施期間を確保している
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	それぞれ事前事後学習を除いて5日間以上の実施期間となっている。また、上記期間に加えて、学生は受入企業とインターンシップの内容について打合せを実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	<p>1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している</p> <p>4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している</p>
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	<p>1. 受入企業にプログラムの趣旨と内容を説明の上、各企業毎にインターンシップの内容を検討の上、プログラムを設定している。</p> <p>4. 各企業毎に参加学生の出席、参加状況、態度等について確認及び評価を実施している。</p>
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	
問い合わせ先	大学等名	徳山大学
	担当部署名	進路支援課
	担当者役職名	課長補佐
	担当者氏名	中村 光宏
	電話番号	0834-28-5566
	メールアドレス	tu.carrier@tokuyama-u.ac.jp